

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	1298700012		
法人名	社会福祉法人希望会		
事業所名	グループホーム希望の里		
所在地	千葉県匝瑳市栢田8645		
自己評価作成日	令和3年5月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php">http://www.kaijokensaku.jp/12/index.php</a>
----------	---

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	令和3年5月28日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

匝瑳市の運営する訪問看護ステーションと医療連携し365日24時間連絡対応体制を整えている。薬局と連携し、薬剤師による服薬管理や薬の作用副作用の説明や随時の職員への助言をして頂いている。歯科医院と連携し、毎月の訪問診療、職員への口腔ケアの説明、助言をして頂いている。3月より毎月PCR検査を全職員に実施。感染症対策について随時、訪問看護ステーションから助言を頂いている。コロナ感染症予防として、地域の行事が全く実施されていないので、病院受診の帰りに車内から季節のお花の鑑賞を随時、入居者の方にして頂けるように、送迎をした職員が配慮している。家族とは玄関先での面会は可能としている。本人が希望したら随時、施設の携帯をお貸しして家族や友人との会話を楽しんで頂いています。市内の医師に施設にきて頂き、希望する入居者と職員には、施設内でコロナワクチンの接種を可能としている。また、要望があれば主治医による接種も可能になっている。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

畑に囲まれた静かな環境の中に、「グループホーム希望の里」がある。同法人が経営する併設のケアハウスとデイサービスも近隣にあり、日頃の行き来や合同行事等で交流が行われており、入居者の楽しみとなっている。施設では入居者の「地域に根ざした明るい長寿社会作り」を理念に掲げ、地域に根差した施設運営を目指している。日頃の挨拶・声掛けや地域行事への参加を通じて、地域との交流を図ると共に、ボランティア団体を招いての施設内行事等、様々な形で地域との交流機会を確保している。しかし、昨年度からは、新型コロナウイルス感染対策の為、地域との交流や地域行事の参加は中止している。家族等との関係継続については、玄関での面会や病院受診の同行により支援している。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		

24	は、支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念を玄関に掲示しています。	施設理念を事業所の玄関に掲示しており、外部の方々にも分かりやすく周知している。また、全職員に文書で配布し、理念の共有化を図っており、地域に根差した、支援の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域との交流は毎年いろいろとありますが、2年度はコロナ予防のため地域行事もなく、独自の交流行事も中止しました。	地域行事の参加や施設行事への招待等を通して、地域との交流を深めている。また、同法人が運営するケアハウスとの合同行事にも参加している。その他、ボランティアの受け入れや地域の小学校・障害者支援施設との交流会を行う等、世代間交流にも取り組んでいる。しかし、昨年度からは、新型コロナウイルス感染対策の為、地域との交流や地域行事の参加、施設行事の開催は中止している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域住民から相談があると、相談対応しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者には、会議の後半に、情報交換会を行うことで意見を汲み取っています。	市職員・民生委員・家族・職員を構成員として、運営推進会議を年6回開催している。会議では施設の活動報告や意見及び情報交換を行い、施設の理解促進及びサービスの質向上を図っている。また、勉強会も行っており、課題解決に繋げている。昨年度は、8月、9月、12月は会議を開催し、1月、2月、3月は新型コロナウイルス感染対策の為、会議は構成員と書面による意見交換を行い、議事録を配布する形で実施している。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	電話やメールや会議や窓口などで随時、相談や意見交換をしています。	市職員とは、日頃から施設運営等に関する相談や報告を通して、連携を図っている。また、毎月入居者名簿を市に提出しており、入居状況を共有している。その他、匝瑳市介護保険事業者連絡会に参加していると共に、管理者が施設部会の部長を務めており、市や同業者との情報・意見交換を通して、協力関係を構築している。昨年度以降の連絡会については、新型コロナウイルス感染対策の為、電話、メール、文書を活用して開催している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に身体拘束に関する内部研修を実施しています。	身体拘束排除における指針を整備していると共に、定期的に検討委員会や内部研修が行われており、身体拘束の無い支援を実践している。また、高齢者虐待防止や権利擁護に関する研修も実施しており、職員全員で共通理解を図っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	管理者は日々、計画作成担当者と意見交換をして、虐待防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	随時、成年後見制度などについて匝瑳市役所の担当者に相談をしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約内容を丁寧にご利用者ご家族に説明しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	目安箱を匝瑳市役所の発案で、長年、設置しています。	面会・電話連絡時・運営推進会議において、直接家族の意見や要望を確認している。挙げた意見や要望に関しては、職員会議にて検討・周知を行い適切な対応に努めている。その他、毎月、家族に手紙を送付しており、入居者の活動や生活状況を伝える等、信頼関係構築に努めている。また、法人の広報誌も発行し、他のサービス事業の活動状況も伝えている。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は、職員の意見を否定しないように心がけています。	定期的に会議を開催しており、職員の意見や提案を確認し、運営に反映させている。また、管理者は随時職員と話す機会作りを心掛け、一人ひとりの思いや意見を引き出すように努めている。他に、定期的な研修の実施やOJT体制により、職員個々に応じた技術や知識の取得に取り組んでいる。希望休や有給休暇の取得については、柔軟に対応しており、働きやすい職場環境づくりに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	希望休を勤務表に反映することで、プライベートな用事のある日に仕事を入れないようにしています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	資格取得希望者には、受験対策研修の往復の交通費を施設が負担しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ予防のため、これまでのように施設間での見学会は実施していませんが、メールや電話で随時、他法人の施設と交流をしています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前のケアマネジャーやソーシャルワーカーからも本人の情報をお伺いしています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご家族からも要望をお伺いしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	訪問看護ステーション、薬局、歯科医院と連携して医療の支援をしています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の様子をみながら、適時の声掛けをしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族には、毎月、手紙で、受診内容や事業活動を報告しています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会を希望する家族や友人の要望に対応できるようにしています。コロナ予防のため玄関先のみでの面会としています。	家族との外出や手紙等を支援しており、家族との関係継続に配慮している。本人や家族の希望に応じて、ドライブや地域行事への参加・馴染みの場所への外出支援を行っており、地域との交流を支援している。その他、隣接しているケアハウスの入居者との交流も行っており、同世代の繋がりを大切にしている。しかし、昨年度からは、新型コロナウイルス感染対策の為、外出や交流活動は中止している。家族等との関係継続については、玄関での面会や病院受診の同行で対応している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲の良い利用者同士が話しやすいように環境づくりをしています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	お亡くなりになった方の葬儀にも理事長が出席しています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に本人の意向をお伺いしています。	入所前に本人・家族から意向・生活歴・身体状況を確認する等、情報の把握に努めている。また、日頃の生活の様子や言葉の中から入居者の思いや意向の把握に努め、本人本位でその人らしい生活の支援を心掛けている。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、ご家族やケアマネジャーやソーシャルワーカーにも情報をお伺いしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	様子観察を24時間注意して行い、訪問看護ステーションが訪問時に気づいたことを、毎週、看護師からお伺いしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	主治医には、定期的に近況報告をして、適切な対応をお伺いしています。	入居者や家族の意向を踏まえた上で、職員全員で話し合い、介護計画を作成している。また、定期的に評価や目標の達成状況を確認し、必要に応じて介護計画の見直しを行っている。職員は会議や申し送りノート等を活用しながら常に新しい情報を共有し、本人の意向や現状に即した介護計画の作成に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、夜間日誌は水分量食事量などわかりやすく記載しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	希望者には、随時、施設の携帯をお貸しして、家族や友人との会話を楽しんで頂いています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ予防のため玄関先だけの面会ですが、家族や友人との面会を可能としています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診にはケアマネジャーが同席して、近況報告を医師に行っています。	希望の医療機関や協力病院への受診が可能となっており、家族の希望に応じて通院の付き添い支援を行っている。また、今年度から内科の往診を月1回導入し、24時間の連携体制を整備する等、適切な医療が受けられるよう支援している。その他、月1回の訪問歯科の実施と共に、訪問看護ステーションとの契約に基づき、健康管理・服薬管理・医療面おける相談や対応等も行なわれており、入居者や家族の安心に繋がっている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	365日24日訪問看護ステーションと医療連携体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は、ソーシャルワーカーや医師と随時、電話や医療連携室などでやりとりをして、退院にむけての支援をしています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に、重度化についての説明もしています。	重度化や終末期における施設の方針・指針を明文化し、家族に説明の上、意思を確認している。重度化した場合や終末期においては、協力病院、往診医、訪問看護師との連携体制が確立されており、家族・医師・看護師・職員と共に、安心して納得の得られる支援方法の検討・統一を図り、施設として出来る限りの支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命士を招いた救命講習を毎年実施していますが、コロナ予防のため、昨年は招いていません。コロナが落ち着いたら、救命士を招く予定です。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を定期的に実施しています。	スプリンクラー・自動通報機・火災報知器等の消防設備を設置していると共に、年2回の消防訓練を実施している。訓練では、消防署立会い訓練・消火器訓練、通報訓練、救命措置等を行い、状況に応じた対応の確認を行っている。しかし、昨年度は、新型コロナウイルス感染対策の為、消防署立会い訓練は中止しており、自主訓練にて対応している。また、市の自主防災会を通じて、緊急時・非常災害時の対策等も話し合われており、協力体制が築かれている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	居室には、プライベートな私物のもちこみをすすめています。	接遇やプライバシー保護に関するマニュアルを整備する共に、研修を実施する等、職員へ意義の周知徹底を図っている。職員は、入居者への尊敬の気持ちを大切に、見守り・言葉遣いに注意を払う等、入居者の尊厳と権利を守る事に施設全体で取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の突発的な受診希望などに沿った対応をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お昼寝、おやつ、食事など希望に沿った対応をしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	整髪、はみがき、洗顔など本人のペースを尊重しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	法人専属の栄養士が、楽しみのあるメニューを考案しています。	献立は、法人の栄養士が作成しており、栄養バランスや季節感に配慮した食事提供がなされている。また、テイクアウト・行事食・手作りおやつ・入居者の希望に応じたメニューの提供を行っており、食に対する楽しみを広げている。その他、地域からの差し入れや収穫された野菜等を活用しており、楽しみや話題作りに繋がっている。	

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を毎週、訪問看護ステーションに報告。随時、必要時には主治医にも電話などで報告しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科医師が毎月往診して、医療処置、職員への助言、指示をして下さいます。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	希望者には施設のポータブルトイレを貸与しています。	排泄の記録を確認しながら排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた声掛けやトイレ誘導を行う等、排泄の自立に向けた支援に取り組んでいる。必要に応じて、医師や訪問看護と相談を行い、適切な排便コントロールに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取、服薬の調整など、随時、訪問看護ステーションや薬剤師にも相談をして、便秘の予防対応をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	高価なシャワーチェアを以前購入しており、安全な入浴に努めています。	入浴は定期的実施されており、入居者の希望や体調に応じて回数や時間等に配慮し、柔軟に対応している。また、必要に応じて、清拭・シャワー浴・部分浴等を実施しており、入居者の清潔保持に努めている。入浴拒否のあった場合には、声掛けやタイミングの工夫により無理強いしない対応を心掛けている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	福祉用具専門相談員と随時、ベッドやマットなどについて話し合いをしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師とは、毎月、情報交換をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日光浴、敷地内の散歩、他の方々との会話、ご家族との受診時のランチなど、気分転換に努めています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ予防のため、外出は控えています が、家族と協力して、家族とランチや外出ができるように支援しています。	入居者の体調や希望に応じて、散歩・買い物・ドライブ等を実施していると共に、個別の希望にも対応する等、柔軟な外出支援を行っている。また、季節に合わせて外出会等も企画・実施されており、戸外で楽しめるように配慮している。昨年度からは、新型コロナウイルス感染対策の為、外出活動は中止しているが、病院受診を兼ねたドライブや家族との外食により、外での楽しみを支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	可能な範囲で、自己管理して頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	施設で携帯電話を以前購入したので、希望者には随時お貸ししています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関に職員の発案で、水槽を設置。癒しの空間となっています。穏やかなオルゴール音楽も家族の発案で、玄関から施設内に流しています。	施設内は全面バリアフリーで、廊下やトイレ等は十分な介助スペースが確保されている。施設内は日当たりが良く、開放的な窓の前にはソファが設置されており、入居者が思い思いにくつろいだり、一息つけるように配慮されている。また、窓の向こうにウッドデッキが設置され、日向ぼっこやお茶飲み等が可能となっており、入居者の楽しみとなっている。カラオケ機・マッサージ機・リハビリ機器等を設置し、入居者への娯楽提供や身体機能の維持・向上に繋げている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う同士がいっしょの席になるように、食事などのときに配慮しています。		

【千葉県】グループホーム 希望の里

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	プライベートな私物を持参することをおすすめしています。	入居者の希望により、馴染みの物を自由に持ち込む事が可能となっており、入居者が安心して居心地良く過ごせるように配慮されている。また、畳やカーペット等を敷く事も自由となっており、一人ひとりの生活歴や個性が表れた居室となっている。全居室にエアコンが設置され、適切な空調管理がなされている。他に、収納スペース・鍵・呼び出しボタン等を設置しており、プライバシー確保及び安全面に配慮した居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室入口に、本人の写真を貼ったり、名札を貼ったりすることで、自分の居室と認識できるように工夫しています。		